

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月12日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 ハーバー研究所
 コード番号 4925 URL <http://www.haba.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小柳 昌之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役人事・経理部担当ディレクタ (氏名) 鍋島 厚
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

TEL 03-5219-5660

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	8,135		515		497		185	
20年3月期第3四半期	8,202	0.1	504	47.1	477	49.3	200	59.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	47.22	
20年3月期第3四半期	64.95	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第3四半期	11,096		5,048		44.5		1,254.09	
20年3月期	10,482		4,900		46.0		1,226.21	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 4,933百万円 20年3月期 4,823百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期				20.00	20.00
21年3月期					
21年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	4.1	835	22.5	800	24.3	380	26.7	96.59

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 社(社名)) 除外 社(社名))

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

会計基準等の改正に伴う変更 有

以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 3,935,000株 20年3月期 3,935,000株

期末自己株式数 21年3月期第3四半期 1,000株 20年3月期 1,000株

期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 3,934,000株 20年3月期第3四半期 3,082,290株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断したもので、為替変動等の潜在的なリスクや不確実性が含まれています。この影響のため、実際の業績が記載の見通しとは異なる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表等規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の当社グループ連結売上高は、8,135,314千円（前年同期比99.2%）となりました。

本年度は、金融危機に端を発した厳しい経済環境により個人消費が急激に落ち込んでおり、前年を僅かに下回る結果となりました。

基礎化粧品は、主力商品であるピュアルーツの刷新効果などにより5,274,500千円（前年同期比101.0%）と順調に推移、メイクアップ化粧品は若干減少しました。栄養補助食品・雑貨等は、イオンマイエステの新発売効果がなくなりましたが、本年度新発売した「カリカリクッキー」や「スリムエナジー」といったダイエット商品が好調で、1,325,819千円（前年同期比100.6%）と前年並みの水準となりました。

販売ルート別には、主力の通販で、売上件数の増加が顧客単価の低下を補い、5,738,458千円（前年同期比100.7%）と前年実績を上回り、百貨店やその他卸向けは減少いたしました。

売上原価は、工場増設や新製品投入に伴う金型代の減価償却費の増加により1,752,955千円（前年同期比105.3%）となっています。

広告販促活動では、TV広告などを控え、新聞広告やチラシなどに重点を移した結果、1,719,946千円（前年同期比84.5%）となり、販売費及び一般管理費も5,867,271千円（前年同期比97.3%）と前年を下回ることが出来ました。

この結果、営業利益は515,087千円（前年同期比102.1%）、経常利益は497,223千円（前年同期比104.1%）、四半期純利益は185,766千円（前年同期比92.8%）となりました。

品目別実績

（単位：千円）

区分		【参考】 平成19年12月期		平成20年12月期		【参考】 増減額	【参考】 増減率
		金額	構成比	金額	構成比		
化粧品	基礎化粧品	5,221,033	63.6	5,274,500	64.8	53,467	1.0
	メイクアップ化粧品	1,088,395	13.3	986,795	12.1	△101,600	△9.3
	トイレットリー	375,268	4.6	346,588	4.3	△28,679	△7.6
	その他（注）1	76,439	0.9	84,595	1.1	8,156	10.7
	小計	6,761,137	82.4	6,692,480	82.3	△68,656	△1.0
栄養補助食品・雑貨等		1,317,911	16.1	1,325,819	16.3	7,908	0.6
化粧品・栄養補助食品等 小計		8,079,048	98.5	8,018,299	98.6	△60,748	△0.8
その他（注）2		123,742	1.5	117,014	1.4	△6,728	△5.4
合計		8,202,791	100.0	8,135,314	100.0	△67,477	△0.8

（注）1. 期間を限定して提供するキャンペーンセット品等が主なものです。

2. ハーバーガーデン（ゴルフ練習場、カルチャーセンター等）等の売上が主なものです。

3. 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

販売ルート別実績

（単位：千円）

区分		【参考】 平成19年12月期		平成20年12月期		【参考】 増減額	【参考】 増減率
		金額	構成比	金額	構成比		
販売 ルート	通信販売	5,697,146	70.5	5,738,458	71.6	41,312	0.7
	百貨店向卸売	1,088,098	13.5	1,022,350	12.7	△65,748	△6.0
	その他卸売	650,060	8.0	619,672	7.7	△30,388	△4.7
	直営店	643,742	8.0	637,818	8.0	△5,923	△0.9
	合計	8,079,048	100.0	8,018,299	100.0	△60,748	△0.8

（注）1. 上記の合計表には、ハーバーガーデン等の売上は含まれていません。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、たな卸資産の増加等により11,096,851千円、前連結会計年度末と比較して614,090千円の増加となりました。負債合計は短期借入金増加により6,048,355千円、前連結会計年度末と比較して466,046千円の増加となりました。

純資産は四半期純利益の増加等により5,048,495千円、前連結会計年度末と比較して148,044千円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、366,799千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益471,896千円、減価償却費354,214千円、仕入債務の増加101,160千円等による増加と、たな卸資産の増加379,258千円、法人税等の支払額211,210千円等による減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、298,801千円となりました。これは主に、工場生産設備の購入等による支出252,821千円等です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、257,798千円となりました。これは主に、短期借入金の純増加額450,785千円と長期借入金の純減少額111,961千円、配当金の支払額78,288千円等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年度3月期の業績予想につきましては、売上面では、主力の通販で売上任数が伸びており、好調に推移している「カリカリクッキー」関連商品を一般流通チャネルでも売出すこと、利益面では、引き続き広告販促費を中心に効率的な経費支出に努める事などから、平成20年5月23日に公表いたしました業績予想の修正は行っていません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が第2四半期連結会計期間末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しています。

②固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却費の算出は、年間償却予定額を期間按分して算定しています。

③税金費用の計算

当社及び一部の連結子会社は、法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっています。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想を利用する方法によっています。

また、一部の連結子会社においては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後に実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

②たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しています。

これによる損益に与える影響はありません。

③「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間により、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っています。

これによる損益に与える影響はありません。

④リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっていましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっています。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しています。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しています。

これによる損益に与える影響はありません。

5 . 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位 : 千円)

	当第3 四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,812,625	2,474,641
受取手形及び売掛金	1,005,413	1,038,038
商品	949,575	607,218
製品	38,944	38,767
原材料	501,552	464,102
仕掛品	64,538	61,632
繰延税金資産	173,566	127,731
その他	220,190	217,666
貸倒引当金	11,135	9,628
流動資産合計	5,755,272	5,020,170
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,165,018	3,071,857
減価償却累計額	1,034,743	909,610
建物及び構築物 (純額)	2,130,275	2,162,247
機械装置及び運搬具	923,965	903,801
減価償却累計額	573,533	483,721
機械装置及び運搬具 (純額)	350,432	420,079
工具、器具及び備品	581,042	552,201
減価償却累計額	414,136	347,043
工具、器具及び備品 (純額)	166,905	205,158
土地	1,877,725	1,866,712
建設仮勘定	35,000	34,675
有形固定資産合計	4,560,339	4,688,873
無形固定資産		
その他	167,533	201,150
無形固定資産合計	167,533	201,150
投資その他の資産		
繰延税金資産	140,294	90,299
その他	488,461	497,317
貸倒引当金	15,050	15,050
投資その他の資産合計	613,706	572,566
固定資産合計	5,341,578	5,462,589
資産合計	11,096,851	10,482,760

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	414,912	313,915
短期借入金	2,013,426	1,562,640
1年内返済予定の長期借入金	546,116	695,860
未払金	515,674	664,437
未払法人税等	262,807	89,302
賞与引当金	36,791	82,645
ポイント引当金	131,825	127,913
その他	156,627	116,818
流動負債合計	4,078,181	3,653,532
固定負債		
長期借入金	1,712,892	1,677,626
退職給付引当金	66,926	60,527
役員退職慰労引当金	156,341	150,389
その他	34,013	40,233
固定負債合計	1,970,173	1,928,776
負債合計	6,048,355	5,582,309
純資産の部		
株主資本		
資本金	696,450	696,450
資本剰余金	812,570	812,570
利益剰余金	3,419,108	3,312,022
自己株式	400	400
株主資本合計	4,927,728	4,820,642
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,802	94
為替換算調整勘定	7,674	3,160
評価・換算差額等合計	5,872	3,255
少数株主持分	114,894	76,553
純資産合計	5,048,495	4,900,451
負債純資産合計	11,096,851	10,482,760

(2) 四半期連結損益計算書
(第 3 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年12月31日)
売上高	8,135,314
売上原価	1,752,955
売上総利益	6,382,358
販売費及び一般管理費	5,867,271
営業利益	515,087
営業外収益	
受取利息	3,070
受取配当金	416
受取賃貸料	33,644
その他	18,547
営業外収益合計	55,678
営業外費用	
支払利息	50,872
その他	22,669
営業外費用合計	73,542
経常利益	497,223
特別利益	
固定資産売却益	801
債務免除益	2,944
特別利益合計	3,746
特別損失	
固定資産売却損	243
固定資産除却損	1,696
たな卸資産廃棄損	6,141
リース解約損	10,633
その他	10,359
特別損失合計	29,074
税金等調整前四半期純利益	471,896
法人税、住民税及び事業税	337,983
法人税等調整額	92,679
法人税等合計	245,303
少数株主利益	40,825
四半期純利益	185,766

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	471,896
減価償却費	354,214
引当金の増減額(は減少)	28,082
受取利息及び受取配当金	3,486
支払利息	50,872
固定資産売却損益(は益)	558
固定資産除却損	1,696
売上債権の増減額(は増加)	32,980
たな卸資産の増減額(は増加)	379,258
仕入債務の増減額(は減少)	101,160
未払債務の増減額(は減少)	70,548
未払又は未収消費税等の増減額	38,113
その他	19,344
小計	588,346
利息及び配当金の受取額	3,461
利息の支払額	48,673
法人税等の支払額	211,210
法人税等の還付額	34,874
営業活動によるキャッシュ・フロー	366,799
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の増減額(は増加)	11,500
子会社株式の取得による支出	6,050
有形固定資産の取得による支出	252,821
無形固定資産の取得による支出	6,106
固定資産の売却による収入	295
貸付けによる支出	10,000
長期前払費用の取得による支出	4,775
差入保証金の差入による支出	8,145
差入保証金の回収による収入	2,569
その他	2,267
投資活動によるキャッシュ・フロー	298,801
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	450,785
長期借入れによる収入	500,000
長期借入金の返済による支出	611,961
割賦債務の返済による支出	2,737
配当金の支払額	78,288
財務活動によるキャッシュ・フロー	257,798
現金及び現金同等物に係る換算差額	605
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	326,401
現金及び現金同等物の期首残高	2,422,158
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,748,560

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(千円)
I 売上高	8,202,791
II 売上原価	1,665,429
売上総利益	6,537,361
III 販売費及び一般管理費	6,032,746
営業利益	504,615
IV 営業外収益	54,210
受取利息	3,529
受取配当金	555
受取賃貸料	40,492
受取損害金	6,979
その他	2,653
V 営業外費用	81,151
支払利息	57,020
持分法による投資損失	136
貸貸関連費用	18,012
その他	5,982
経常利益	477,674
VI 特別利益	5,730
投資有価証券売却益	5,280
その他	450
VII 特別損失	25,822
固定資産除却損	6,079
投資有価証券売却損	445
たな卸廃棄損	14,298
和解金	5,000
税金等調整前四半期純利益	457,581
法人税、住民税及び事業税	217,087
少数株主利益	40,297
四半期純利益	200,196

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日~12月31日)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	457,581
減価償却費	293,100
引当金の減少額	△20,399
受取利息及び受取配当金	△4,085
支払利息	57,020
投資有価証券売却損益	△4,834
固定資産除却損	6,079
売上債権の増加額	△50,722
たな卸資産の増加額	△338,724
仕入債務の減少額	△43,257
未払債務の減少額	△186,835
未収及び未払消費税等の増減額	△61,469
その他	29,908
小計	133,360
利息及び配当金の受取額	3,993
和解金の支払額	△5,000
利息の支払額	△57,774
法人税等の支払額	△417,457
営業活動によるキャッシュ・フロー	△342,879
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の純減少額	10,452
投資有価証券の取得による支出	△949
投資有価証券の売却による収入	37,028
新規連結子会社の取得による収入	11,996
有形固定資産の取得による支出	△933,998
無形固定資産の取得による支出	△111,539
貸付による支出	△126,007
長期前払費用の支出	△4,582
差入保証金の差入による支出	△5,519
差入保証金の返還による収入	831
その他	△2,555
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,124,842

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増加額	413,500
長期借入れによる収入	310,000
長期借入金の返済による支出	△453,817
株式の発行による収入	392,000
割賦債務の支払額	△6,715
配当金の支払額	△58,745
財務活動によるキャッシュ・フロー	596,221
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,220
V 現金及び現金同等物の減少額	△873,721
VI 現金及び現金同等物の期首残高	3,132,467
VII 現金及び現金同等物の期末残高	2,258,746